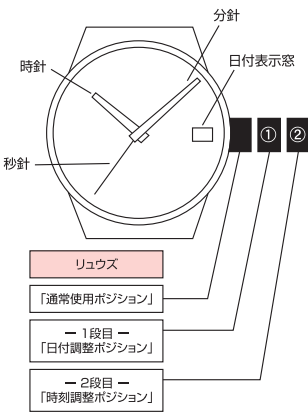


ソーラーチャージウォッチシリーズ



■商品の特長
この時計は、文字板にソーラーセルを記し、光エネルギーを電気エネルギーに変換して時計を駆動させるアナログパワーウォッチです。

■ご使用になる前に…
十分に光を当てて充電してからご使用ください。この時計には、電気エネルギーを蓄えるために2次電池が使われています。この2次電池は、水銀などの有害物質が一切使われていないクリーンエネルギー電池です。フル充電より約6ヶ月間動き続けます。

この時計には、過充電防止機能がついており、充電しすぎる心配はありません。快適にご使用いただくためには、常に余裕をもって充電することを心掛けてください。

注意

日付表示がないシリーズは、リュウスの1段目が「時刻調整ポジション」になります。

時刻の合わせ方

1. 秒針が0位置(12時位置)きた時、リュウスを「時刻調整ポジション」まで引いてください。(秒針停止)
2. リュウスを回し、午前と午後に注意して、時刻を合わせてください。
3. 時報と同時に、リュウスを押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。(秒針スタート)

アドバイス

正確に時刻を合わせるには、正しい時刻より10分ほど進めてから、分針を戻すようにして時刻を合わせ、時報と共にリュウスを押し込んでください。

日付の合わせ方

1. リュウスを「日付調整ポジション」まで引いてください。
2. リュウスを反時計回りに回し、日付を合わせてください。
3. リュウスを押し込み、「通常使用ポジション」に戻して完了です。

アドバイス

日付の調整は、進む方向にのみできます。戻す方向にはできません。

注意

日付調整をする場合、PM8:00～AM4:00の時間帯は避けてください。万一操作を行いますと、日付が正しく切り替わらなかったり、ムーブメントに不具合が生じてしまうことがありますので、ご注意ください。もし、この時間帯に修正を行う場合は、上記時間外に針を動かしてから日付を合わせてください。
水中や濡れた手でこのリュウス操作は、ムーブメントの故障の原因になることがありますので、ご注意ください。「通常使用ポジション」への押し込み方が充分でない、全く防水が効いていない状態になります。必ず、元の位置まで確実に押し込んでください。

ソーラーチャージウォッチの保管について



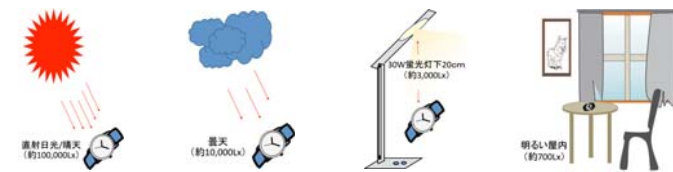
- 長袖の下など、文字板に直接光が当たらない環境下では効率よく充電がされません。時計を使用されない時は、文字板に光が当たる場所に保管するなど、充電を心掛けてください。
- 引き出しの中などの暗い場所で長期間充電されない状態が続くと、電気を完全に放電してしまい、充電できなくなることがあります。その場合は、ご購入店または弊社サービスセンターへご相談ください。

注意

充電する際は、時計が高温(約60℃以上)にならないようご注意ください。(例)炎天下の車内のダッシュボード、白熱灯の直下、長時間の直射日光下など。

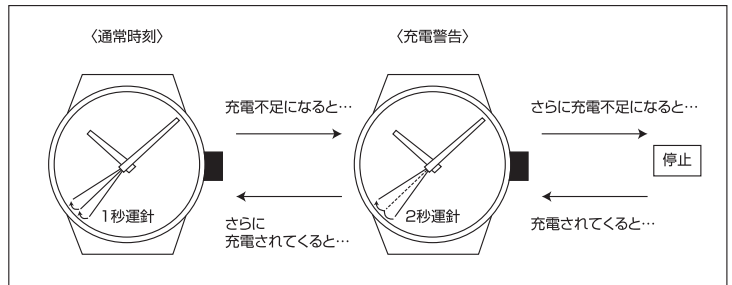
アドバイス

ソーラーチャージウォッチを充電するには、十分に明るい環境が必要です。光線強度目安として、下記の環境をご参照ください。



ソーラーチャージウォッチ特有の機能について

充電不足になると、以下のような警告機能が働いて、表示が切り替わります。



●充電警告機能

電池電圧が低下すると、秒針が2秒ずつ動き(2秒運針)充電不足をお知らせします。2秒運針より約4日経過すると時計は停止します。光を当てて充電を行ってください。十分に充電されると、運針は元に戻ります。

ソーラーチャージウォッチ充電時間の目安

下記の目安時間まで充電しなくても一時的に秒針が1秒運針をする場合がありますが、その状態ではすぐに2秒運針に戻ることがあります。充電の際は、下記の各自目安時間より長く充電することをおすすめします。

(R0xxシリーズの場合)

照度 (Lx : ルクス)	環境	1日動かす分の充電時間	2秒運針から1秒運針までの充電時間	フル充電時間
700	明るい屋内	約4時間	約60時間	—
3,000	30W蛍光灯下20cm	約40分	約8時間	約130時間
10,000	曇天	約12分	約3時間	約20時間
100,000	直射日光/晴天	約2分	約18分	約6時間

(R3xx-R503-R6xxシリーズの場合)

照度 (Lx : ルクス)	環境	1日動かす分の充電時間	2秒運針から1秒運針までの充電時間	フル充電時間
700	明るい屋内	約70分	約25時間	—
3,000	30W蛍光灯下20cm	約20分	約8時間	約60時間
10,000	曇天	約6分	約2時間	約20時間
100,000	直射日光/晴天	約2分	約24分	約6時間

(R501-R502-R2xxシリーズの場合)

照度 (Lx : ルクス)	環境	1日動かす分の充電時間	2秒運針から1秒運針までの充電時間	フル充電時間
700	明るい屋内	約115分	約45時間	—
3,000	30W蛍光灯下20cm	約28分	約10時間	約85時間
10,000	曇天	約8分	約3時間	約25時間
100,000	直射日光/晴天	約2分	約25分	約4時間

防水性能について

ご注意!!!リュウス操作をする前に!!

<本体にWATER RESISTANT 3ATM, 5ATM表示のあるモデル>

これらの時計は、3気圧防水(日常生活用防水)、5気圧防水(日常生活用強化防水)です。手洗いや洗顔、軽い降雨などで一時的にかかる水滴には耐えられますが、水道からの水を直接当てたり、水泳やダイビングなどでのご使用は避けてください。

時計内部には多少の湿気があり、外気が時計内部より低い温度の時は、ガラスの内側がももることがあります。一時的なくもりの場合は支障ありませんが、長時間ももりが消えない場合はそのまま放置せず、ご購入店または弊社サービスセンターへご相談ください。濡れた手、または水中でのリュウス操作による浸水や防水性能を超えた水圧による浸水は、保証期間内の場合でも有償修理になります。

注意

防水性能は、あくまでも目安です。表示してある状況下でも振動・運動によって水圧が付加され、耐用気圧を超えることがあります。このような場合は、故障・損傷の原因になりますので、充分にご確認ください。
水中、及び時計や手に水分がついた状態でリュウスの操作を行うと、時計内部に水(湿気)が入る原因になります。ご使用の際は、リュウスが「通常使用ポジション」にあることをご確認ください。リュウスが他のポジションにあると防水性が保たれませんので、ご注意ください。

革バンドのお手入れのご使用について

革バンドには自然素材を用いています。磨耗や変形、変色などの経年劣化が生じるため、定期的な交換をおすすめします。水に濡れたり汗をかいた場合は、すぐに乾いた柔らかい布で、擦らずに吸い取るようにして軽く拭き取ってください。湿ったままの状態が続くと、かぶれや染料が腕や衣類を汚す原因になります。ご使用後は、風通しの良い涼しい場所に保管してください。

永らく安全にご使用していただくために

<アレルギーなど>

金属バンド・革バンドともに、皮膚の弱い方、アレルギー体質の方はかぶれたりすることがあります。また、バンドの汚れや湿りをそのまま放置すると、かぶれなどの原因になることがあります。万一かぶれた時には、その時計の使用を一時中止し、すみやかに皮膚科専門医へご相談ください。

<お手入れ>

- 錆びにくいステンレススチールも汚れが付着したままでは錆が発生することがあります。普段から柔らかい布で拭いたり、こまめなお手入れをおすすめします。
- 金属バンドは、時々部分洗いをすることをおすすめします。ベルトに付着した汚れは、石鹸水などを付けたブラシで軽く部分洗してから、乾いた布で完全に拭き取ってください。
- 時計のバンドは通気性を良くするため、腕に緩みをもって着け、汗や汚れは乾いた布ですぐに拭き取ってください。
- 故障の原因になりますので、水洗いはしないでください。また、極端に曲げたり、摩擦を避け、有機溶剤などに近づけないでください。

<長期間ご使用にならない場合>

柔らかい布で表面の汚れをよく拭き取り、高温多湿になる場所を避けて保管してください。

<その他>

- 分解
時計本体、及びバンドをご自分で分解しないでください。ご自分で分解されたことによる故障や部品の紛失などについての責任は負いかねます。
- 磁気
携帯電話やパソコンなど、強い磁気が発生する可能性のあるものの近くに時計を置かないでください。磁気を帯びることでの時計の精度に狂いが生じます。
- 衝撃
ゴルフや野球などのスポーツ、床面に落とすなど、時計に強い衝撃が加わると、止まり・遅れをはじめとする故障・損傷の原因になりますので、ご注意ください。
- 温度・湿度
直射日光が当たる場所や高温多湿になる場所、寒冷地、その他極端な気象条件下での長時間のご使用、放置は故障の原因になりますので避けてください。
- 化学薬品・有機ガス
水銀や化学薬品(ガソリン、シンナー、各種溶剤、またはそれらを含むクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)の付着、有機ガスの中での使用により、時計本体やバンドなどに変色や破損が生じることがあります。
- 管理・保管
高温下(約60℃以上)で放置・保管しないように充分ご注意ください。高温下に長時間放置すると、故障の原因になります。長時間ご使用されない時は、柔らかい布で表面の汚れを良く拭き取り、高温多湿の場所を避けて保管してください。